



インフォメーション



2021年度子育て支援フォーラム 地域の資源が繋がって 子育てを支えるまちに!

昨年度、子どもが親などから虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で20万件を超え、過去最多を更新しました。児童相談所の役割や課題をお聞きするとともに、地域の資源と連携して子育て家庭を支援した事例などを共有し、子育てを地域で支えるまちづくりに向けて私たちができることを考えます。

日時：2022年1月8日(土) 14:00~16:00
会場：生活クラブ館スペース1・2 オンライン併用
講師：江戸川区児童相談所援助課長 上坂かおりさん
活動報告：キッズルームていんかあべる、たすけあいワーカーズさざんか、たすけあいワーカーズもも
定員：オンライン300人、会場20人まで
申込締切：2021年12月20日(月)
参加費：無料 申込はこちらから➡



【お問合せ】TEL:03-5426-5207 生活クラブたすけあいネットワーク事業部内
インクルーシブ事業連合事務局 担当 平岡・藤田

共に働く 応援団

働きづらさを抱える人と共に働く事業所への寄付を引き続き募集中!

おかげさまでNPO法人エコメッセは18万円の目標達成しました。ありがとうございました! **2022年1/21まで**

NPO法人こすもすは28万円が集まりましたが、まだまだ100万円(製菓用冷蔵庫の購入費)の目標に届いていません。引き続き寄付を募集しています。ぜひこちらのフォームから寄付にご協力ください ➡



サポーター登録のお願い あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かなまちを!



インクルファンドではこれまでにサポーターからの月々300円の登録寄付を財源に、居場所づくり、子育て支援、障がい者(児)支援事業など、様々な活動に助成を行ってきました。ぜひサポーター登録していただき、地域の活動をご支援ください!

● 班・個別配送の方は注文用紙(OCR用紙)に下記6桁の注文番号と申込口数をお書きください。

インクルファンド登録寄付	1口300円
申込期間	12/13(月)~12/17(金)
注文番号	198595
集金月	2021年1月から毎月

生活クラブのインターネット注文 **eくらぶ** インターネット注文 **eくらぶ** から
もお申し込みいただけます。

*登録寄付は中止のお申し出がない限り継続します。
すでに登録されている方は、改めての申し込みは不要です



● デポ一組合員の方はWEBページから <https://www.inclusive-gr.com/supporter/>
ご登録いただくかお電話にてご連絡ください。

お問合せ：インクルーシブ事業連合事務局 TEL:03-5426-5207 Fax:03-5426-5203
(生活クラブ東京 たすけあいネットワーク事業部内)

2021年度福祉フォーラム

楽しい、カッコいい、 自分たちが行きたい場をつくる

利用者やボランティアの自主性を大事にし、「自分たちのデイサービスや地域を自分たちでよくしていこう」という方針を基本とし、高齢者福祉をはじめ、障害福祉、子育て支援、傾聴ボランティア育成など、多様なボランティア事業と収益事業を展開している NPO 法人シニアライフセラピー研究所代表の鈴木しげさんのお話をお聞きします。

日時：2022年1月29日(土) 14:00~15:40
会場：生活クラブ館スペース1・2 オンライン併用
講師：NPO法人シニアライフセラピー研究所
代表 鈴木しげさん

定員：オンライン300人、会場20人まで
申込締切：2022年1/17(月)
参加費：無料
申込はこちらから➡



利用者も一緒に調理する「かめキッチン」の様子

つながって実現! 市民主体のまちづくり型福祉

インクルーシブ通信

2021年12月
VOL. 38



発行：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者：小寺浩子 <http://inclusive-gr.com>

～共に働く事業所活動報告会～

働きにくさを抱えた人も、共に働く場を増やそう!

インクルーシブ事業連合では、どんな状況におかれている人も地域であたりまえに働くことができる場を増やし、インクルーシブな地域社会を実現するために、2016年度より「共に働く事業所指定寄付」の募集を開始しました。

10月16日に共に働く事業所指定寄付活動報告会を開催し、これまでに助成を受けた4団体からNPO法人エコメッセの大嶽貴恵さん、NPO法人こすもすの佐久間寛子さん、一般社団法人共にはたらくワーカーズ えんこらしよの古池初美さん、NPO法人コンチェルティーノの浅川悦子さんが活動報告を行いました。

報告を聞いた参加者からは“今回初めて知った活動もあり、報告を聞いてますます応援したくなった”“このような活動が地域に広がっていくことが必要だと感じた”などの感想が寄せられ、



それぞれの団体の活動や共に働く場の重要性について発信することができました。また、報告団体からは地域の中で運動グループがそれぞれの団体の強みを生かして連携し、共に働く場づくりをすすめていきたいとお話がありました。

共に働く場を広く周知していくために、このような機会を設け発信していくことが大切だと感じました。また、より多くの人に活動を知ってもらえるよう工夫していきたいです。(インクルーシブ事業連合事務局 藤田彩加)

★共に働く事業所指定寄付は2022年1月21日まで募集中です。4面をご覧ください。

福祉現場の声を届けました

インクルーシブ事業連合では、毎年、会員団体から集めた現場の声をもとにした予算提案を東京都に提出しています。

10月28日、東京・生活者ネットワークの代理人(都議会議員)岩永やす代さんのコーディネートのもと、2022年度の東京都の予算に対する提案を提出しました。介護現場への支援・DV対策・ひとり親支援・ケアラー支援・子どもの人権・地域の居場所づくり等に関する提案に対し、東京都保健福祉局の担当者からは、現場の苦勞が伝わった。貴重な意見として受け止めていく。また、国



に提案すべき点はしていく等のコメントがありました。

2021年第1回 インクルファンド助成選考結果

申請団体：一般社団法人うさぎのみみ(西東京)
事業内容：重症心身障害児者・医療的ケア児者を主な対象とした多機能型通所施設の設立及び運営
申請額：997,689円(備品購入費及び前家賃)
*2020年度第2回からの継続審査

9/13にプレゼンテーション及び選考委員会を行い、地域に必要な事業であることが十分理解できたため、選考委員会としては997,689円を助成推薦額として決定しました。但し、開設予定日が確定していなかったため、今後開設日が確定次第、インクルーシブ事業連合運営委員会の審議を経て助成額として決定していく予定です。

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/ACT たすけあいワーカーズ・コレクティブ連合/NPO法人ACTひととまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京CPB(コミュニティパワーバンク)/NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/NPO法人まちぽっと/環境まちづくりNPOエコメッセ



NPO 法人 ACT・人とまちづくり

介護のきほん3か条 1. 尊厳を守る 2. 自立の支援 3. 在宅の支援

<介護保険事業>

介護サービスを併設しない独立型の居宅事業所です

介護が必要になった時、まずはご相談ください。私たちケアマネジャーは、お一人ひとりの生き方・暮らし方等を聴いて、一緒に考えながらケアプランを作成するお手伝いをする仕事です。現在都内6か所に46人のケアマネジャーがいる居宅介護支援の専門集団です



- ★せたがや支援事業所: 世田谷区船橋 1-1-2 (ケアマネ 8人)
- ★ねりま支援事業所: 練馬区桜台 1-12-9 (ケアマネ 8人)
- ★きた支援事業所: 北区東十条 4-10-6 (ケアマネ 7人)
- ★まちだ支援事業所: 町田市成瀬が丘 2-27-1 (ケアマネ 7人)
- ★たま北支援事業所: 東村山市久米川町 2-28-3 (ケアマネ 7人)
- ★にしとうきょう支援事業所: 西東京市保谷町 6-25-22 (ケアマネ 9人)
- ★人とまちづくり事務局: 東久留米市前沢 4-9-6 (事務局 5人)

ケアマネジャー募集 未経験者も丁寧に指導します

- ・フレックスタイム制です
- ・働き方が選べます 40・32・24時間
- ・70歳までキャリアをいかせます



<まちづくり事業> 地域のさまざまな困りごとを解決するために

今地域に何が求められているの？「くらしの相談室」構想の実現に向けて

子どもから障がいを持つ人、子育て中の人、働きづらい若者、そして認知症の人誰もが孤立することがなく緩くつながられる相談と場を創ることを考えています



ACT・人とまちづくりは、何よりも人を育てること、そして経験豊かな人材を現役引退後も、地域で緩やかに専門職を活かして地域の相談役として活動するステージを考えています

介護なんでも相談開催中

- ・地方に住む母の介護で相談できますか？
 - ・今違う事業所でプランをつくってもらっているが…
 - ・施設を探しているがどこが良いのかしら？
- などなど、6か所の事業所にいつでもお気軽にご相談ください

もちろん！介護保険制度への政策提言をしています。ケアプランの有料化は反対！
介護認定調査の自治体調査実施中！

【お問合せ】
人とまちづくり事務局
TEL 042-479-4810



ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合

労働者協同組合法 2022年10月から施行
注目されるワーカーズ・コレクティブという働き方

ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合(ワーカーズ連合と略)は2016年に都内のたすけあいワーカーズが集まり結成。現在、11区18市に33ワーカーズが活動中です。2020年12月に成立した労働者協同組合法が2022年10月には施行されます。知恵と資金を出し合って雇用を作り、自ら経営に参加する「ワーカーズ・コレクティブ」という新しい働き方が注目されています。

ワーカーズの主な3つの仕事

- ① ACTつながるケア(自立援助サービス事業)
アビリティクラブたすけあい(略称ACT)が赤ちゃんからお年寄りまで誰もが住み慣れたまちで自分らしく暮らせるように地域で始めたサービス。実施はワーカーズが担っています。



100歳と0歳。ぽけっと富士見(東村山市)で一緒にイベントを楽しむ。調理・買い物・掃除・洗濯、片付けなどの家事や病院への付き添い、乳幼児の見守り、保育園の送迎、庭の手入れなど守備範囲は広い。

- ② 介護保険事業
20年前に始まった同事業に殆どのワーカーズが参入しています。



訪問介護や通所・小規模多機能の事業に取り組む。コロナ禍では、政府や自治体からはマスクや防護服などの物資は提供されたが、もっと介護現場の感染防止スキルを学ぶ機会が欲しい。ヘルパー580名、介護福祉士366名、ケアマネ88名、看護師27名。
☆写真はBeすけっと@日野市

- ③ 障がい福祉サービス
居宅介護はじめ重度訪問介護、行動や同行援護、移動支援を行っています。



障がい福祉サービス事業部会を作り、研修や調査などを実施。移動支援に対する報酬単価が自治体によって大きな差があることがわかり、昨年は4自治体へヒアリング。その結果、2自治体で報酬アップを実現。今後、調査範囲を広げ、今年度中には結果を発表予定。
☆写真はゆりの木@世田谷区



むすび@練馬区→



←まちカフェひろばもも@江戸川区

ワーカーズは誰もがリラックスして過ごせる家庭でも職場・学校でもない「サード・プレイス」づくりにも奮闘中。

コロナ禍での問題提起

- ◆コロナによる影響、800人アンケート
コロナ前後、ワーカーズの介護保険サービス利用者と非利用者801人に「外出の機会」や「会話」「気持ちの変化」を質問。3つ全てで非利用者が利用者の1割ほど減少幅が大きかった。元気な高齢者ほど意識的にコミュニケーションを増やすことが重要。
- ◆ヘルパーへのワクチン格差を浮き彫りに
多くの自治体で施設系に比べて居宅系従事者が差別されていることを明らかにしようとアンケート調査を今夏、実施。「在宅は常に後回し、なのに常に最前線」自由記述によせられた言葉に尽きる。公平な処遇を求める要望書を首

【お問い合わせ】

ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合



<actrengo.office@gmail.com>
ツイッターも始めました。
HPも御覧ください。